

## ハイライト:

教員採用試験を受験した教育学部生の合格率は96%でした。昨年度の100%に続き、非常に高い合格率となりました。



大学案内に掲載されている写真

# 宮崎国際大学教育学部ニュースレター

## 教育システム及び教員採用試験対策におけるPDCAサイクルについて

副学長・教育学部長 福田 亘博



今年度の教員採用試験（教採）では昨年度に引き続き100%合格を目指して教採試験対策を行ってきましたが、下欄にあるように全員合格とはいきませんでした。

PDCAが機能していないかもしれないため、少し述べたいと思います。教育学部では教育システムの改善のために、従来より、PDCAサイクルを活用して検証・改善・公表しています（本学HPに公表/教育学部ニュースレター第28号で報告）。教採対策でも同様です。具体的には、現役で合格するために必要な「教員に求められる資質能力」を身につけさせることを目的に、本学では、教職カリキュラムと連携させ、基礎学力強化（補習）から開始し、教採対策講座では、教員採用試験一次・二次試験に合格する対策等を整備・徹底させています。昨年

度100%合格はこれらの成果であると考えています。

では、今年度何故不合格者が出たか？教採では不合格になった受験者には二次試験結果が郵送されてきます。不合格となった学生と検証した結果、何故かが一目瞭然でした。出願書類等のチェック漏れでした。また、複数の学生がチェックを受けずに提出したことも判明しました。次年度以降、教採出願に係るすべてについて、最終チェックを徹底させる必要があると肝に命じ、受験する学生全員に周知徹底するようにしたいと思います。

皆様には、本学が掲げる「礼節・勤労」の教育理念のもと、学生諸君が教員、保育教諭や公務員になりたいとの希望が確実に達成できるように、教職員が一丸となって指導・支援してまいりますので、今後とも相変わらずのご協力・ご支援をお願い致します。

## 令和7年度(令和6年度実施)公立学校教員採用選考試験 現役学生29名合格！！ 小学校合格率96%

学生教職支援センター長 有嶋 誠

今年度の現役学生の公立学校教員採用試験一次試験では、小学校教諭28名、中学校教諭（英語）1名、高等学校教諭（英語）1名が合格しました。7月から8月にかけて二次試験が行われ、小学校教諭27名、中学校教諭

（英語）1名、高等学校教諭（英語）1名が合格しました。高等学校教諭（英語）の1名は本学初の現役合格者となりました。来年4月から現役学生と卒業生34名が、県内外の小・中・高校に教諭として勤務する予定です。

宮崎県小学校	教育学部 4年生	22名合格	教育学部 卒業生	1名合格
大分県小学校	教育学部 4年生	1名合格		
熊本県小学校	教育学部 4年生	1名合格		
東京都小学校	教育学部 4年生	1名合格		
福岡市小学校	教育学部 4年生	2名合格		
沖縄県小学校	教育学部 卒業生	2名合格		
熊本県高等学校	国際教養学部 4年生	1名合格（英語）		
宮崎県中学校	国際教養学部 4年生	1名合格（英語）	国際教養学部 卒業生	1名合格（英語）
大分県中学校	国際教養学部 卒業生	1名合格（英語）		
日向市役所	教育学部 4年生	1名合格（一般事務）		
宮崎市役所	教育学部 4年生	1名合格（保育・幼稚園教諭）		
始良市役所	教育学部 4年生	1名合格（一般事務）		



宮崎国際大学マスコットキャラクター ミウ

## 卒業した先輩からのメッセージ

## 学び続ける姿勢を大切に

木城町立みどりの杜木城学園 教諭 日下 玲慈  
(令和6年3月宮崎国際大学教育学部卒業)



私は現在、みどりの杜木城学園で2年生の学級担任をしています。9年間の一貫教育を行う義務教育学校で、毎日忙しいながらも子どもたちと楽しく充実した時間を過ごしています。

大学時代から、「学校に行くのが楽しい」「みんなで学びたい」と子ども達を感じられる、安心できる学級づくりを目指していました。その思いは、今も変わらず、日々子どもたちと全力で向き合っています。

教員となり半年が経ち、生徒指導や学習指導に悩むことも多くありますが、トライ&エラーを繰り返しながら、私自身も子どもたちと共に成長していけるように努力しています。

大学での学びは、教員としての現場で役立つことが多く、特に授業づくりや人間関係構築に活かされています。「退屈だ」と感じる講義でも、将来の教壇に立つ自分を想像することで学びへの意識が変わるかもしれません。共に学び、高め合える仲間を大切にしながら勉学に励んでほしいと思います。

## 保育士1年目で重要だと感じること

宮崎市立福島保育所 保育士 守川 知里  
(令和6年3月宮崎国際大学教育学部卒業)



私は現在、0,1歳児クラスの担任をしています。子どもたちのできることが増えていくことを一緒に喜び合い、やりがいを感じながら慌ただしくも楽しく過ごしています。保育をする中で、子どもたちへの伝え方や保護者対応等に悩むこともあります。先生方の様子を見たり、アドバイスをいただいたりして日々学んでいます。

分からないことや悩むことばかりの1年目で、改めて相談・確認・報告の重要性を感じています。この3つをすることで失敗を防いだり、より良いものになったり、信頼関係の構築に繋がったりすると実感してきました。保育や保護者対応は1人で行うものではありません。担当のクラス以外の子どもや保護者、保育士とも関わっていきます。

後輩の皆さんも実習時や就職後に目の前のことで精一杯になるかもしれませんが、困っていることは伝えなければ分かりにくいものです。1人で抱え込まずに、すぐ相談・確認・報告をしてみてください。

## 公務員試験に合格して

## 公務員試験対策で心がけたこと

教育学部4年 甲斐 月  
(日向学院高等学校出身)  
日向市職員(一般事務)内定



私は日向市役所の職員採用試験(一般事務)で内定をいただきました。その試験で私が一番苦労したのは、エントリー時の録画面接です。公務員対策講座で先輩方から教えていただいた印象良く映る工夫を実践しました。

1次試験の筆記ではSPI問題集で対策を行いました。その中で私が心がけたのは、時間配分です。日向市役所の筆記試験は計60分だったので、最初の40分はじっくり解き、残りの20分は分かる問題だけを重点的に解くようにしました。

2次試験のグループワークと面接では公務員志望の友人達とzoomで練習をし、お互いに添削し合うことで対策を行いました。何度も練習を重ね質問のレパトリーを増やすことで、本番でも焦らずに受け答えをすることができたと思います。

今後は日向市の良さを沢山のの人に伝えることのできる公務員を目指して、大学での学びに励んでいこうと思います。

## 信頼される保育者を目指して

教育学部4年 久世 奈々加  
(宮崎学園高等学校出身)  
宮崎市職員(保育士・幼稚園教諭)内定



私は宮崎市役所(保育士・幼稚園教諭)から内定を頂きました。公務員試験を受けるにあたって、一次試験から三次試験まで全て面接があったため、私は特に面接対策に力を入れました。宮崎市の公立保育所について理解を深めることはもちろん、自己分析を通して自分の強み・弱みを明確にしました。また、大学の先生方には何度も面接指導をしていただいたことで、不安を軽減して本番に臨むことができました。

4月からは、幼い頃から夢であった保育士になります。保育者になった後も自分の実践を振り返り改善することを通して、保育実践力を磨き続けていきたいです。また、子どもや保護者と密に連携をとり、関わる全ての人から信頼される保育者を目指します！

## 公務員試験を終えて

教育学部4年 中村 朱里  
(鹿児島県立国分高等学校出身)  
始良市役所(一般事務)内定



私は始良市職員採用試験(一般事務A)に合格することができました。特に面接試験に力を入れ、大学の先生や友人に協力してもらい、多くの質問に応じることができるようになりました。試験を終えて感じたことは、何度も練習を重ねることの大切さです。何度も練習したことで、自信に繋がり、あまり緊張せずに自分の強みを出せたと思っています。今後は、多くの方から信頼される職員を目指し、様々なことに挑戦していきたいです。

現在公務員を志望している人は周りに目指している人が少ないので、心配事を抱え込んでしまう時もあるかもしれません。しかし努力して乗り越えることができれば、合格というゴールが待っています。最後まで諦めず頑張ってください！応援しています。

## 学生作成記事

## 教員採用試験に合格した4年生から後輩へのアドバイス

教育学部3年生2名が、熊本県、大分県、宮崎県の教員採用試験に合格した先輩方にインタビューをして記事を作成しました。

## 一次試験の勉強法

対策講座で先生方から教えてもらうことや配られた資料はとても役に立ちます。そのため、対策講座には休まずに出席するようにしましょう。

また、参考書は複数使ってしまうと中途半端になってしまうため、一冊に絞って勉強することが大切です。自分が決めた参考書を解きながら、分からないところがあったら学習指導要領で確認して参考書に書き込んでいくことで、大事なところを一冊にまとめることができます。教職教養では、いじめの問題、人権教育などに加えて、受験する県それぞれの法令等が出題されるため、勉強しておくと思いいます。

## 二次試験の勉強法

面接では、一番初めに願書について質問される県もあれば、教育に関する課題について質問される県もありました。模擬授業では、友達と協力して何回も練習しておくことで、本番は自信を持って授業をすることができると思います。大分県では、大分スタンダードに沿った授業にするために、同じ県の友だちと一緒に模擬授業の練習を行いました。グループワークでは、事前にしっかりと調べておくことで根拠を持って発言できるようにし、話を聞くときには傾聴する姿勢が大切です。

熊本県では、論述が行われていますが、過去問があまりないため、自分から積極的に先生方をお願いして対策をしていただくようにしてください。

英会話では、練習していたことを聞かれてもすぐ答え

るのではなく、考えて発言することが大切なので、「間」を意識するようにしましょう。

## 心がくじけそうなときに支えになったものは？

教員採用試験に向けて練習を重ねることです。一次試験に向けて勉強した参考書、グループワークや面接についてまとめたノートなど、自分が今まで頑張ってきた証を見ると、「ここまでやった自分なら大丈夫」「もっと頑張ろう」という気持ちになれます。

## 後輩に向けてのメッセージ

お互いを高め合える仲間と一緒に事前の資料集めやグループワーク、模擬授業の練習を頑張ってください！自分一人だけでは気付けないことがあるので、模擬授業は様々な人に見てもらって練習をしましょう。事前に自分ができることをして自信を持ち、当日、自分を出せるように頑張ってください！



後列左から教育学部3年青木美鈴(宮崎北高等学校出身)、藤原百花(宮崎西高等学校出身)、4年久保田亘喜(都城西高等学校出身)、前列左から4年矢田日和(熊本県立東稜高等学校出身)、木本茉奈美(大分県立三重総合高等学校出身)

## 『忍ヶ丘保育者塾』の開設について

教育学部教授 白石 知子

子どもを取り巻く社会環境は、ここ数年、「子どもまんなか社会」に向け、子ども基本法の成立・施行、こども家庭庁の発足、こども大綱の閣議決定など整備されています。本学では本年10月から、「愛情と情熱、使命感のある保育者養成」を目指して『忍ヶ丘保育者塾』を月1回から2回、土曜日に開設しています。

『忍ヶ丘保育者塾』とは、保育士、幼稚園教諭、保育教諭を目指す学生等が講義・演習などの実践的な講座を通して、保育者としての基本的・実践的な知識・技能を身に付け、保育・教育に対する知見を学ぶ場です。

第1回は10月5日(土)に実施しました。前半に、「幼児教育の現状と保育者養成指標策定について」を宮崎県福祉保健部こども政策局こども政策課北村義人主査(宮崎県教育庁義務教育課指導主事)に講義いただきました。後半は、本学の山下愛実講師が「保育行政とこども政策の

最近の動向」について講義をしました。どの学生も真剣なまなざしで講義に耳を傾け、資料を熟読していました。特に、4年生は来年4月からの社会人・保育者としての意識が高まり、積極的な発言も見られました。

今後は、「特別支援教育関係」と「こどもの見方・接し方」、「危機管理」と「保幼小連携(接続)」、「こども真ん中社会における保育・教育の在り方」と「主体性保育・共主体保育の在り方」、「インクルーシブ教育」と「園の評価・第三者評価」、「保護者対応・子育て支援」と「自己評価ガイドラインと記録」の内容を5回(10講義・演習)を計画しています。講師には、宮崎県及び宮崎市教育委員会の先生方や小学校校長、及び、県内国公私立幼稚園・保育園の園長や理事長、宮崎学園短期大学の先生方を予定しています。学生が自ら学び、自ら考えるような場になるように環境を整えるとともに、卒業後も学び続ける保育者を育てたいと思います。

〒889-1905 宮崎県宮崎市清武町加納丙1405番地  
電話:0985-85-5931 FAX:0985-84-3396



国際教養学部 比較文化学科  
教育学部 児童教育学科

## 週末キャンパス見学会 & 相談会

ウェブサイトはこちらから↓

### CONTENTS

10:00~12:00

- ◆学部説明
- ◆受験対策講座  
国際教養：英語面接対策  
教育：小論文対策
- ◆入試相談（任意）

大学について知りたい！オープンキャンパスまで待てない！  
という方のための週末見学会（要予約）です。  
詳細は本学HPで！

第5回  
11/30 土

第6回  
1/25 土

第7回  
2/15 土



YouTube



## 入試広報部からのお知らせ

お問合せ先

TEL 0120-85-5931

MAIL [admissions@miu.ac.jp](mailto:admissions@miu.ac.jp)

## LINE相談受付中

「入試制度について知りたい」など、見学会に行くことが出来ない、という高校生・保護者の方のために、公式LINEアカウントのチャット機能をオープンしています。お気軽にお問合せください。



QRコードを読み込んでお友達追加してね！



## 中学生の英語力向上のサポート！

教育学部 2年 津曲 雛菜 (宮崎大宮高等学校出身)



私は、西都市の教育委員会から委嘱され、中学生の英語力向上を目指すためのサポーターをしています。1回目の活動では、西都市の中学校に行き、パワーポイントを用いて英検過去問の解説を行いました。数名のサ

ポーターで役割分担をして準備をしました。

初めての経験で、当日は緊張しました。英語力の異なる生徒たちに、限られた時間内で、文法や単語の要点を押さえて、英語を分かりやすく教えることの難しさを実感しました。解説が生徒にとって分かりやすかったか不安でしたが、個別指導をした時に、生徒が「わかった！」「できた」と言ってくれて、やりがいを感じました。

この経験を通して、自身の英語力向上の必要性や教えることの楽しさを感じ、教師になることへの意欲がより高まりました。

## 子ども達の力になりたい！

教育学部 1年 岩切 里楠子 (宮崎北高等学校出身)



私は、宮崎市北地区社会福祉協議会、まちづくり推進委員会主催の夏休み寺子屋学習支援事業に参加しました。夏休み期間の小学校4、5、6年生を対象に学習サポートを行いました。

主な活動は、子ども達が持ってきた夏休みの宿題で分からない問題を子ども達に教えることでした。休み時間は、子ども達とコミュニケーションをとることができ、子ども達の日頃の様子や趣味、流行りの事柄について話が盛り上がりました。

子ども達の中でもつまづく問題はそれぞれ違っており、私自身も勉強になりました。子ども達がどこの問題をどのように分からないかを感じ取る難しさと、分かりやすく教えることで子ども達が理解してくれる楽しさを感じました。これからも、ボランティア活動に参加し、様々な子ども達と関わっていきたいと思います。